

「加齢黄斑変性に伴う卵黄様病変の自然経過」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

下記機関において、2012年1月～2023年3月31日までの間に加齢黄斑変性に伴う卵黄様病変と診断された患者さん

- 山梨大学医学部附属病院
- 日本大学病院
- 神戸大学医学部附属病院

2. 研究の目的

本研究では、加齢黄斑変性に伴う卵黄様病変の患者さんのカルテを見直し、自然経過や視力予後と合併症について検討することを目的としています。

3. 研究の方法

「1.研究の対象となる方」を対象に、初診時の検査所見やその後の画像所見や視力等を調べます。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2025年3月31日

5. 利用又は提供を開始する予定日

情報の利用開始日：2023年12月1日

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報（年齢、性別、視力、画像データ）等

試料：用いません。

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

7. 外部への試料・情報の提供

収集した試料・情報は、氏名等の特定の個人を識別することができる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付与し、情報はメールにて共同研究機関へ提供します。

8. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は多機関共同研究として、以下の研究機関と責任者のもとで実施します。

【研究代表者】

山梨大学医学部 眼科学講座

櫻田 庸一

機関長の氏名：小泉修一

【共同研究機関】

日本大学医学部 眼科学講座

研究責任者：田中公二

機関長の氏名：松本 直也

神戸大学医学部 眼科学講座

研究責任者：三木明子

機関長の氏名：眞庭 謙昌

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学、各共同研究機関

10. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

11. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究には、研究費をもちいません。そのため、企業等からの資金提供もありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、山梨大学の研究責任者及び分担研究者は、利益相反について山梨大学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

各共同研究機関の研究者については、各所属機関において適切な実施体制であることの審査を受けております。

12. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学 医学部眼科学講座 櫻田 庸一

メールアドレス：sakurada@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9657

<研究代表者>

山梨大学医学部眼科学講座

准教授 櫻田 庸一

2023 年 11 月 8 日

メールアドレス：sakurada@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9657